



Sabae Rotary Club

R I 第2650地区 2018-2019年度 鯖江ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリーテーマ

インスピレーションに
なろう



第2888回
4/5(金)

4月第1例会

点鐘:12:30

テーマ 「夢を持つこと」
パラリンピック選手
卓話 **伊藤 竜也 様**

2018-19年度 第2650地区スローガン

ロータリーを学び、実践し、
発信しよう;Enjoy Rotary

第2889回
4/12(金)

4月第2例会

点鐘:12:30

テーマ 「ころばぬ先の貯筋肉」
たかやなぎ整骨院院長
卓話 **高柳 信也 様**



鯖江ロータリークラブ会長方針

和をもって貴しとする

会長 酒井 芳則

第2890回
4/19(金)

4月第3例会

点鐘:12:30

テーマ 「福井銀行のコンサルティングサービス 人材発掘・育成編」
福井銀行 鯖江支店長
卓話 **木村 祥久 様**

4/5(金)

第2888回
例会報告

4つのテスト

出席率61.9%

鯖江商工会議所 3階中ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 っ の テ ス ト
国 歌 斉 唱
ロ - タ リ - ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング



「奉仕の理想」

桑原 重之
ソング委員長

会長挨拶



酒井 芳則 会長

3月31日にR I 第2650地区2018-2019年度の地区大会にご参加頂きましてありがとうございました。天皇の始まりの地、多くの渡来文化の地でもあります。

奈良あすかの地において開催されたことが幸でした。又、私が提唱させて頂きました「和をもって尊しとする」は、聖徳太子のお言葉から抜粋したものですので、偶然にも生誕の地でもありますので、3月30日の会長会・幹事・地区委員長会議や懇親会では身近に感じられました。帰りには高速道路において雪による事故が発生しており、日をまたぐかとも思われましたが会員の家族情報により、高速を降りることなく帰り着くことが出来ました。ありがとうございました。また、今後の会長・幹事にられる方は是非参加されることを、お勧めいたします。さて、4月

8日は北クラブ創立の日でもありましたが、今は1つとなり、私たちのロータリーをエンジョイして行きたいですね。桜咲き誇る4月、家庭会合で盛り上がってくださいませようよろしくお願いいたします。

新年号「令和」についてですが、新聞に出ている通り、新しい元号の「令和」は1200年あまり前に編さんされた万葉集の歌文に出てくる、梅の花の歌32首の序文にある「初春の令月(れいげつ)にして、気淑(よ)く風和(や)わらぎ、梅は鏡前の粉(こ)を披(ひ)らき、蘭は珮後(はいご)の香を薫(か)おらす」との文句から引用したものであります。そして、この「令和」には人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められています。そうした日本でありたいとの願いを込め「令和」に決定いたしましたと総理は説明されました。4月に入りゴールデンウィーク(GW)を心待ちにしている人も多いことでしょう。2019年のGWは最大で10連休になるので、例年よりもさらに多くの方が旅行に出掛ける可能性が高いですが、一方で長期間の休みに不安を感じる人もおられます。日本人は働き過ぎといわれていますが、年間の休日数という部分に絞ると、実は世界でも断トツのトップとなっています。年取が低く、残業代で何とか生活を維持している社員にとっては、休日が増えると残業代も減ってしまい、月収の低下につながります。大企業の社員や公務員などのように、休みをどう活用するのかというのは、恵まれた一部の人の話といってよいでしょう。日本人の年間平均労働時間はここ20年で大きく減少しており、2016年時点では約1700時間と米国とほぼ同じレベルになりました(OECD調べ)。しかし日本人の睡眠時間や家族と過ごす時間は先進諸外国より少ないという調査結果もあり、休みの多い分残業も増える悪循環にもなっているように思います。しかし元号の継承は皇室の長い伝統と、国家の安泰と国民の幸福への深い願いとともに、1400年近くにわたる我が国の歴史をつむいでできました。日本人の心情に溶け込み、日本国民の精神的な一体感を支えるものとなっています。我が国は歴史の大きな転換点を迎えています。いかに時代が移ろうとも、日本には決して色あせることのない価値があると思います。世界の中の日本はいろいろな立場にたたき立てられていますが国を愛し、ロータリー精神の通り心豊かに活動を続けたいと思います。



前回の会長会議の時に、敦賀RCが「こどもかけこみ所」を鯖江RCで作って会員の皆さんに配布・商店街設置等してはどうですかと言われました。鯖江クラブ用に1枚作っていただいたので紹介します。

誕生祝い



小部 隆充 会員
窪田 健一 会員
瀧谷 えみ子 会員

結婚祝い



梅田 吉臣 会員

勤続表彰



木村 明 会員
小部 隆充 会員
橋本 政宣 会員

幹事報告



酒井 雅憲 次年度幹事
本日例会終了後、事務局に於いて定例理事会を行いますので、よろしくお願いいたします。

委員会報告



佐野 直美 出席委員長
本日の出席者数は、26名で、出席率は65%となっております。以上です。

パラリンピック選手

卓話

伊藤 竜也 様

テーマ 「夢を持つこと」



卓話者紹介 木村 明 会員

本日の卓話者は、日本理学療法士協会から推薦いただきました伊藤竜也さんです。大野市のお生まれで、17歳の時交通事故で車いす生活となり、30歳から車いす陸上をされてその2年後、国内大会100mを連勝され2018年10月にアジアパラリンピック選手権に日本代表として出場し、アジア新記録で優勝されています。「夢を持つこと」をテーマにお話しいたします。



卓話者 伊藤 竜也 様

テーマ 「夢を持つこと」

私は車いす生活になっておよそ16年が経ちます。17歳の時交通事故に遭って医者からこの先歩けることは99%無いと言われ、それまでの生活が2度と送れないのかとしばらく生きていることを辛く感じていました。入院生活の中では歩くためではなく車いすで日常生活を送るためのリハビリを行い、できる事が増えるにつれて大袈裟な言い方かもしれませんが、生きる望みがわいてきました。その頃はスポーツとは全く無縁でまさかスポーツが出来るなんて思ってもいませんでした。自宅に帰って普通の生活を送ることは今思うと、とても大変でした。病院にいれば食事や移動など特に困難はありませんが、自宅の改修をしても完全なバリアフリーではありませんでしたし車の運転や仕事の事など悩み事は尽きませんでした。

現在は東京の建設会社「新日本工業」に所属していますが、以前は福井済生会病院で事務をしていました。病院では電子カルテの管理、医者や看護師等の補助業務を行っていました。就職して5年位経った時に自分にしか出来ないような事がしたいと思うようになりました。それが何かを考えた時に、障害者の支援窓口のようなものを立ち上げたいという結果になりました。社会福祉協議会や講演会に参加したりしました。その頃に鯖江市の車いす販売をしている桑原彰三さんと出会いました。病院で障害者支援の窓口を立ち上げたいことを相談すると桑原さんからのアドバイスで福井県障害者スポーツ大会の視察に行きました。そこで車いす陸上の高田俊浩さんと会うことになりました。「何かスポーツはやっているの?」これが初めの言葉だったと思います。何もしていないことを伝えるとその場で他の方の競技用車いすにのせていただきました。競技用車いすは3輪で作られていて正座をして頭を下げ、日常の車いすとは全く違っていて決して楽なものではありませんでした。ですが楽しい気持ちの方が大きかったと記憶しています。

パラスポーツにはクラス分けがあります。障害はそれぞれ違うので平等に競うためです。障害クラスによっては競技人口が少ないクラスもあります。高田さんに私の障害を説明すると、「今からでも真剣に競技に取り組みれば君のクラスなら、東京パラリンピックに出場できるよ」と言ってくれました。半信半疑な気持ちでしたがとりあえず楽しかったしやってみようと思いました。それから1カ月くらいで中古の競技用車いすを用意していただきまし

た。初めて参加した大会が2016年10月「大分国際車いすマラソン大会」のハーフの部でした。結果は7位でした。完走できればと思って望んだ大会でしたのでとてもうれしかったです。それから冬を越し2017年3月「全国車いす駅伝競走大会」に福井県チームとして自分用に採寸した出来立ての競技用車椅子で参加しました。チーム成績としては過去最高順位でしたが自分の走りに不甲斐無さを感じました。「このままの練習量では東京パラリンピックには出場できない。」そう思い練習量を増やすため2020年までなら仕事なくても・・・という覚悟で直ぐに仕事を辞める決断をしました。決断して2週間後に退職しました。それから毎日自分の考えたメニューや日程で練習をしました。トレーニングが楽しく毎日が充実していましたがその年のハーフマラソンやトラックレースの成績はいまひとつでした。そんな中以前から登録していたパラアスリートと企業をマッチングする「つなひろワールド」の紹介で2018年3月に縁があり「新日本工業」に所属することができました。所属することによって、経済的な負担が圧倒的に減りました。



たまたま参加した沖縄での合宿で今のコーチである方に会いました。これが転機でした。その方は和歌山医大の研究所の方でパラ陸連の方でもあります。「この合宿が終わったら和歌山医大の研究所に来て測定してみないか?」とお誘いを受けました。それからすぐに和歌山医大の研究所へ行き測定を行いました。色々な測定結果から私自身は短距離向きという結果が出ました。それからは短距離の練習に切り替え、筋力トレーニングを一層強化していきました。その結果2018年初めの100mレースで国内2位となりました。それからも定期的に測定を行い、練習を見ていただくうちに国内の100mレースでは連勝し、アジアパラ競技大会の日本代表にたどり着きました。そして臨んだ大舞台、タイムは狙っていませんでしたがアジア新記録で優勝することができました。短距離に転向して約半年のことでした。

アジアパラ競技大会に参加したこと、福井国体が開催されたこと、パナソニックのCMに参加させていただいたことでメディアの注目を得ることもできました。競技関係者や選手、福井県の色々な方との出会いもありました。とても感謝しています。そして2019年、勝負の年です。東京パラ出場の選考基準や最終的な選考大会などはまだ決まっていますが、他の選手達は必ず競技力を上げてくるはずですが、私自身もしっかり練習と一層の身体づくりに徹していく必要があります。数々の大会がありますが、ピークポイントを決めレースごとに確実にタイムを出していかなければなりません。ですが、勝ち負けのことを考えすぎると力んでしまいますので自分らしく楽しくレースに臨む気持ちが大事と考えています。やってきたことに自信を持ち最高の大舞台で最高の結果を出したいと思います。またパラスポーツを通して福井の多方面での発展にも力を注いでいきたいと思います。



皆さんこれからも応援よろしくお願いします。

RI第2650地区 2018-19年度

地区大会

登録者数 2,541名

2019年 3月30日(土) 3月31日(日)

会場:ジェイテクトアリーナ奈良・THE KASHIHARA ホストクラブ/あすかロータリークラブ

にこにこBOX報告

酒井 芳則 会員	3/31地区大会参加ありがとうございました。パラリンピック陸上選手伊藤様の卓話を楽しみにしております
窪田 健一 会員	誕生日を頂いて
小部 隆充 会員	〃
梅田 吉臣 会員	4/13結婚記念日です。お祝い頂きありがとうございます。地区大会いろいろハプニングがあり楽しかったです
齋藤 多久馬 会員	伊藤様の卓話に期待して
木村 明 会員	〃
吉田 俊博 会員	〃
佐野 直美 会員	〃
小淵 洋治 会員	座席変わっています。よろしくお祈りします。
武生RC 上木 様	地区大会ではバス同乗させていただきありがとうございました。

日本事務局からのお知らせ
2019年4月のレートは、1ドル = 110円です
 (4月レート適用は、4月1日(月)以降に弊局口座へ着金対象)